巻　頭　言

学長　小林素文

愛知淑徳学園創立70周年記念事業として開学された本学は、本年度で18年目となりました。

この間、文学部は、当初の国文学科・英文学科に図書館情報学科・コミュニケーション学科が加わることにより、学問分野の幅が広がるとともに、大学院博士課程を擁することにより奥行きを深めることができました。

本年度は、こうした本学の年々歳々の発展を支えてこられた2名の教授が退職されます。

酒向健教授は本学で14年にわたり教職関係の講義および学生指導に活躍されました。

大島一郎教授は10年にわたり一般教育で全学科の学生に文学への関心を高めてこられました。

両先生の本学における真摯なご研究と教育活動に対して、心よりの敬意を表し、本号を両先生の退職記念号とさせていただきます。両先生の本学への多大のご功績に感謝を申し上げるとともに、今後のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げたいと存じます。

また、関係各位におかれましては、この論集がさらに実りあるものとなるべく、温かい、しかし厳しいご批判とご指導を心からお願い申し上げます。